

## 来年度の活動について

### 《活動内容の一例》

#### ○ごみ・流木問題

- ごみ・流木調査の実施（矢作川での出水後の調査、山・川部会との連携）
- 発生源の特定方法の検討
- ごみ・流木問題の解決方法の検討
- 「木づかい」と連携した流木再利用方法等の検討
- 調査結果の活用・PR方法の検討（データベース化、ごみMAP作成など）etc

#### ○豊かな海の生物調査

- 勉強会の継続開催（干潟の生き物、海底の生き物、鳥など）
- 干潟生物調査の継続実施
- 生き物からみたあるべき干潟や後背地のあり方の検討
- 矢作ダムの砂を入れた造成干潟での生物モニタリング調査の計画
- 調査結果の活用・PR方法の検討（データベース化、パネルや冊子作成など）etc

#### ○海と人との絆再生

- 海に関心をもってもらう啓発活動の実施（他団体との連携、自主活動の展開）  
（ごみ・流木調査、干潟観察会、鳥類観察会、食イベントなど）
- 学校との連携（学校関係者との意見交換、小学生・保護者との交流など）
- 干潟へのアクセス改善の検討
- 海での活動者の発掘・連携（他団体の活動状況調査、利用者アンケート調査など）

#### ○干潟・ヨシ原再生

- 矢作ダムの砂を活用した干潟造成の試験施工の計画
- 山・川部会、市民等を巻き込んだ干潟造成の実施
- 造成干潟での環境モニタリング計画の検討
- 造成干潟をフィールドとした啓発活動の展開検討
- PR・活用方法の検討（流域連携の象徴的取組みとして）

以上